

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

清

音婦人防火クラブは、10月13、14、26、27日の4日間、清音地区の一人暮らし高齢者宅を総社市消防職員や民生委員といっしょに訪問し、住宅用火災警報器が未設置のお宅に無料で設置する活動をしました。

4日間で104軒を13人のクラブ員で分担して訪問しました。すでに住警器を取り付けていたお宅もありましたが、81個を設置することができました。皆さん消防職員からの丁寧な説明を熱心に聞き、防火意識を高めていました。訪問を拒否されるかと不安もありましたが、事前に消防本部から連絡していただいたおかげで、トラブルなく活動で



住警器を取り付け、説明する消防職員

きました。

この活動を通じ、普段あまり付き合のない地域の人も気持ちのよいふれあいをすることができました。これから火災が多くなる季節です。このたび訪問したお宅はもちろんのこと、どこにも火事がないことを祈っています。

(清音婦人防火クラブ
代表小原久美子さん・
清音柗木)

榎

谷地区に鎮座する「池田神社」は、大正2年12月、旧池田村に散在していた9社が合祀されて誕生し、今年で100年目を迎えました。その節目を祝い10月20日、池田神社で秋祭りと合わせて記念祭が行われました。

午前8時30分、3基の子どもみこしが宮司さんのおはらいを受けて各地区を練り歩く一方、池田神社では記念式典や備中神楽の奉納、餅まきなどの行事が行われました。氏子約300人が



みこしを担ぐ子どもら

参拝し、世話役の総代たちから甘酒や冷茶の接待を受け、「久しぶりじゃなあ、元気じゃったん」で始まる、よもやま話に花を咲かせました。

昔、夏祭りの夜には、境内でやぐらを囲んでの盆踊りや花火大会が行われ、浴衣姿の村人や帰省したお客さんなど多くの人でにぎわいました。今ではお参りする人も少なく、とても寂しくなりました。記念祭は久しぶりの大きな祭りで、参拝された人々の声は弾み、とても楽しんでいました。

(池田神社総代
水子義之さん・榎倉)

環 境観光大使でアルピニストの野口健さんが講師の環境学校を11月7日、昭和小学校区を会場に開催しました。

野口さんは、昭和小学校5、6年の児童29人と日羽谷川周辺を清掃。空き缶やタイヤなど不法投棄されていた、軽トラック1台分のごみを回収しました。野口さんは、「まずは自分の目で現場を見て知る。そしてみんなでその問題を解決しようと思ってくれば」と、子どもたちに語りました。その後、高滝山を愛する会の会員らといっしょに高滝山に登りました。



昭和小学校で行われた講演会。野口さんの幼少期の経験談や登山の苦労話に参加者は引き込まれた

野口健さんと日羽谷川周辺を清掃する昭和小学校5、6年生

昭和小学校体育館で行われた講演会には、同小3、4年の児童も加わり、保護者や地域住民を合わせ約220人が参加しました。野口さんはエベレスト登頂に2度失敗。3度目の挑戦で成功するまでの苦悩を話し、「人生トータルで見ると最終的に51%成功ならOK。残り49%は失敗してもいい」と、心に決めたら気持ちに楽に。何でもすぐうまくはいかない。長く続けることが大切だ」と、参加者に熱く訴え掛けました。

環境観光大使野口健さんと環境学習

自分の目で現場を見て知る

赤米大使相川七瀬さんと赤米稲刈り

力を合わせて盛り上げる



新本の本庄国司神社の神田で新本小学校の5年生と(写真上)、備中国分寺南の赤米の田で山手小学校の5年生と(写真下)稲刈りをする相川さん

赤 米大使で歌手の相川七瀬さんが11月8日、新本の本庄国司神社の神田と備中国分寺南の田で赤米の稲刈りをしました。

同神社の神田では、新本小学校5年生17人、新本国司神社赤米保存会のメンバーらと、稲の成長を喜びながら刈り取りを行いました。備中国分寺南の田は、6月に「相川七瀬と赤米の稲作体験プロジェクト」で田植えをした赤米の田。稲のほとんどが秋ウシカ被害を受けましたが、一部残っていた稲を山手小学校5年生46人と刈りました。



このたび初めて総社を訪れた対馬市の比田勝副市長(左)と南種子町観光課の吉田矢さん(右)

また、相川さんが赤米大使をしている縁で、長崎県対馬市の比田勝副市長と鹿児島県南種子町観光課の吉田矢さんが来社。相川さんは、「赤米大使として、赤米を守っている3か所が力を合わせ、盛り上げていく活動のお手伝いできれば」と話しました。

市民憲章

わたしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学習
明るい家庭をぎざぎざしましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみぢ
- ◎市の鳥/タンチョウ

今月の表紙

文化勲章を受章した名誉市民の書家 高木聖鶴さん。

編集後記

■毎年受けている健康診断。今年は思い切って初人間ドックにチャレンジ。やはりバリウムだけは慣れなかった……。でも体のすみずみまで検査できて良かった。

■日本ハンドボールリーグの取材に行き、トップレベルのプレーに感動の連続。高校生時代に戻って、また毎日ハンドボールしたいな。

■少しでも多くの方が健診を受けてくれればと力を入れた特集。実は静岡県伊豆の国市の広報紙を参考にした。良いものはまねをする……。ちゃんとお断りはしました。

■来年4月から英語特区がスタート。こんな公立の幼稚園が40うん年前にあったら、私も英語ペラペラの国際人になれたかも……。

サンロード吉備路ランチバイキング無料券が当たる

広報クイズ

今月号を読んで、次のクイズにお答えください。

- Q1 手遅れになる前に病気を発見するために〇〇〇〇を受けることが大事
- 【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人にサンロード吉備路ランチバイキング無料ペアチケットを贈ります。
- 【応募期限】 平成26年1月6日(月)
- 【9月号の答え】 8店舗
- 【9月号の当選者】 川上和代さん(溝口)、坪井美幹子さん(清音上中島) [応募総数29件]
- 【10月号の答え】 水戸岡鋭治さん
- 【10月号の当選者】 市田守さん(久代)、木口富夫さん(宍粟) [応募総数44件]
- 応募先 総社市役所企画課
〒719-1192 中央一丁目1番1号
✉kikaku@city.soja.okayama.jp